別記様式

会　　　議　　　録

|  |  |
| --- | --- |
| 会議の名称 | 令和４年度　鴻巣市観光戦略会議 |
| 開催日 | 令和５年１月３０日（月） |
| 開催時間 | 午後３時００分　開会　・　午後４時２０分　閉会 |
| 開催場所 | 鴻巣市役所　会議室棟１００１会議室 |
| 議長（委員長  ・会長）  氏　　名 | 会長　齋藤義夫 |
| 出席者（委員）氏　　名  （出席者数） | 齋藤義夫、須田幸男、関口典宏、吉田伸一、岡田明、中島勇治、  福田悟、渡辺明美、堀越孝雄、榎本永子、坂本愛子、西尾治道、  渡邉峰雄、柳毅、髙坂清　（１５名） |
| 欠席者（委員）氏　　名  （欠席者数） | 大橋誠　（１名） |
| 事務局職員  職　氏　名 | 環境経済部副部長　　堀越延年  環境経済部副部長　　宇野彰  商工観光課　課長　　清水健紀  　副課長　金子栄次  　主任　　中村友美  　主事　　金子耀太　　（６名） |
| 傍聴の可否  （傍聴者数） | 可　　（０名） |
| 会議次第 | １　開会  ２　あいさつ  ３　自己紹介  ４　役員の選出について  ５　議事  　　（１）会議の公開について  　　（２）令和２・３年度実績報告  　　（３）今後の計画  ６　その他  ７　閉会 |
| 配 布 資 料 | １　次第  ２　資料  ３　パンフレット（観光こうのす２０２３春・夏号、鴻巣市ロケ地ガイドマップ、にぎわい交流館「にこのす」） |
| 事務局  事務局  髙坂委員  事務局  全委員  事務局  委員  事務局  全委員  委員  事務局  全委員  事務局  会長  事務局  会長  全委員  会長  会長  事務局  会長  委員  会長  事務局  会長  委員  会長  委員  会長  全委員  会長  事務局  会長  委員  会長  全委員  会長  事務局  委員  事務局  委員  事務局  委員  事務局  委員  委員  事務局  全委員  事務局  副委員長 | （開会　午後３時００分）  ●次第１　「開会」  開会し、【資料１ページ】に基づき、鴻巣市観光戦略計画について説明。  鴻巣市の行政運営における最上位計画「第６次鴻巣市総合振興計画」政策5－3「観光の振興」において、「観光客数が増加することによって、市の認知度が高まり地域経済が活性化すること」を目指す姿としており、観光戦略計画は、この施策の具体的な目標を示すことによって、更なる観光の推進を図るために策定しているものである。  　現在は第２次鴻巣市観光戦略計画が策定されており、計画期間は平成３１年４月から令和６年３月まで。当会議は、第２次観光戦略計画の進捗管理を行うために実施するものである。  ●次第２　「あいさつ」  　髙坂委員（鴻巣市環境経済部長）に挨拶を求める。  　挨拶する。  ●次第３　「自己紹介」  　委員の任期が２年であり、本日が最初の会議であるため、資料【委員名簿】に基づき、各委員に挨拶を求める。  　挨拶する。  ●次第４　「役員の選出について」  【鴻巣市観光戦略会議設置要綱】第５条第１項に基づき、会長及び副会長を委員の互選により選出する必要があるため、各委員に推薦を求める。  一般財団法人鴻巣市観光協会会長の齋藤委員を会長に推薦する。  異議がないか委員に確認する。  異議なし。  鴻巣市商工会の須田委員を副会長に推薦する。  異議がないか委員に確認する。  異議なし。  ●次第５　「議事」  【鴻巣市観光戦略会議設置要綱】第５条第２項に基づき、議事の進行を会長に求める。  　議事（１）「会議の公開について」事務局に説明を求める。  【資料２ページ】に基づき、鴻巣市観光戦略会議傍聴規定（案）について説明。  　当会議は鴻巣市の付属機関における懇話会等に位置し、鴻巣市付属機関等の設置及び運営に関する基本方針では、法令等の規定により会議が非公開とされる場合や情報公開条例により個人情報が内包される場合を除き、原則会議を公開することとなっている。また、公開にあたっては会議の傍聴の対応を取ることとなっている。  委員に意見を求める。  　異議なし。  　鴻巣市観光戦略会議傍聴規定（案）を可決し、会議を公開することとする。  議事（２）令和２・３年度実績報告について事務局に説明を求める。  【資料４から１９ページ】に基づき、令和２・３年度実績報告について説明。  ≪鴻巣市観光戦略計画の目標値について≫  令和２年度の観光客数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントを開催中止としたことから、前年と比べて大幅減となっている。令和３年度は、一部イベントを再開したことから、観光客数が少し増加した。  　また、市公式Instagramのフォロワー数について、最終目標値を３，０００人としており、令和３年度時点で３，２００人を超えていることから、目標数を達成した。  ≪基本戦略１　観光資源の充実と発信≫  　令和２年度のイベント開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどが中止となったが、「鴻巣びっくりひな祭り」のみ、規模を縮小して開催した。  　運転免許センターからの誘客対策として、令和３年度より「フラワーロード」の創出を実施。運転免許センターから鴻巣警察署までの通りにプランターやハンギングバスケットを設置することで花のある空間を演出。    ≪基本戦略２　鴻巣市ブランドの確立と発信≫  　令和４年１月にコウノトリ野生復帰センター「天空の里」がオープン、コウノトリの飼育が開始。コウノトリをイメージさせる新商品の開発が進み、令和４年８月時点で２３の商品がコウノトリブランドとして採択されている。  　令和２年１２月に「花と緑の都市宣言」を制定したほか、「鴻巣市＝花のまち」としてのイメージ定着を図る一環として、鴻巣駅自由通路に花を描く「フラワーデザインアート」を作成し、駅利用者にPRした。  ≪基本戦略３　観光拠点施設の活用≫  　花久の里では、バラの開花していない時期や平日の観光客数増加を図るため、チューリップやサルビア等季節の花を植栽、いがまんじゅう作り体験等の体験教室を開催した。ひなの里では、節句人形や赤物の展示、つるし雛製作講座等を実施し、集客を図った。  ≪基本戦略４　広域観光交流の推進≫  　令和２年度は、新型コロナウイルスの影響で多くの観光交流や市町村連携事業が実施中止となったが、令和３年度に老神温泉びっくりひな祭りへ観光協会が参加する等、一部交流を再開した。  ≪基本戦略５　観光情報の発信≫  　本市で運用する公式Instagramについて、令和２年度終了時点で、フォロワー数２，４００人、令和３年度時点で３，２００人と大きく増加しており、目標値である３，０００人を達成した。  　また、新たにInstagramを用いて情報発信を行う市民観光大使  「KONOStagram観光大使」を任命し、活用している。  現在、吹上駅の自由通路にデザインアートを作成しており、２月末から３月初めには完成する予定なので、ぜひ見てもらいたい。  　また、行田市で鳥インフルエンザが発生したとの情報があるが、コウノトリ施設は休館するのか。  　埼玉県の発表によると、施設が発生源からちょうど１０キロ圏内に位置し、野生の鳥がウイルスを運んできてしまう可能性が考えられることから、安全を確保するために本日から１カ月ほど休館とさせていただく。  コウノトリの卵が産まれる期間はいつからいつまでか。  コウノトリの繁殖期は２月から７月頃で、順調に生まれていれば７月にはヒナが巣立つといわれている。  議事（２）令和２・３年度実績報告について委員に意見を求める。  小谷のささら獅子舞が開催される日枝神社には、江戸時代の中頃に作られたとされる有名な彫刻があり、現在非常に注目されている。伝統芸能だけではなく、彫刻を含めた芸術という文化も歴史的価値のある文化財として発信していくとよいのではないかと思う。  地域ごとに根差した文化はたくさんあり、それを発信していくことは今後必要になるだろう。  年間を通して免許センターを利用する人が多いため、フラワーロード創出事業による花の設置は大きな効果があった。同じ通りに面するせせらぎ公園も普段から多くの利用客がいるので、更なる誘客を図るため、花飾りの設置やイベントの実施等を検討するのもよいと思う。  せせらぎ公園の有効活用については、今後の検討材料とさせていただく。  　その他意見がないか委員に確認する。  　意見なし。  議事（３）今後の計画ついて事務局に説明を求める。  【２０ページ】に基づき、今後の計画について説明。  　令和６年４月から第３次観光戦略計画が施行されることに伴い、令和５年度は８月に１回、１月から２月の間に１回、計２回に分けて意見交換会を実施する予定。  議事（３）今後の計画について委員に意見を求める。  　昨年コスモスフェスティバル開催の折に須田剋太展覧会を実施した。その際に電車で来訪される方が多いことがわかったので、今後、イベントの帰りに史跡や施設を巡りながら駅まで戻るルートを考えてみるのもよいのではないかと思う。  第３次観光戦略計画への検討材料とさせていただく。  その他意見がないか委員に確認する。  　意見なし。  全ての議事を終了とする。  ●次第６　「その他」  　その他意見や各団体における活動報告について委員に求める。  　現在コスモスアリーナ付近の堤外にてコスモスやポピーの栽培をしているが、未だ何も耕作していない土地がある。そのような土地をボランティア等と協力して花を栽培できるようにし、四季を通して花がある空間にしていきたいと思っている。  　花のまち鴻巣をＰＲしていくためにも今後検討させていただきたい。  　今年度は「鎌倉殿の１３人」が注目されたことで、歴史上の偉人と関りがある神社や史跡が多数メディアで紹介されている。本市にも、日本一小さい東照宮等の歴史上価値のある史跡があるので、今後発信していきたい。  　今後の検討とさせていただく。  　花と人形を特産品としているまちは非常に珍しい。今後機会があれば人形屋と花卉産業者が協力して何かしらのイベント等ができればと思う。  　花と人形は本市に欠かせない特産品であるので、今後検討させていただく。  　今年の７月には高崎線が開業１４０周年を迎えるので、何かしらイベントを実施し、本市をＰＲしたいと考えているので、その際はぜひご協力をお願いしたい。  　花久の里では、現在バラの生育をしているが、伊奈町や川島町等バラで有名な町が多くあるので、地域連携の観点からこのような市町村とのタイアップも検討していきたい。  他に意見等ないか委員に確認する。  意見なし。  ●次第７　「閉会」  閉会にあたり、副委員長に挨拶を求める。  挨拶する。  （閉会　午後４時２０分） | |